

北大経済学部同窓会報

第28号

発行者
北海道大学経済学部同窓会
発行日
2012年8月31日
電話&FAX
(011)706-4113
email
dosokai@econ.hokudai.ac.jp
経済学部卒業生数
9,161名

言 頭 卷 研究成果の 地域への還元 — 同窓生の協力を —



大学院経済学研究科長・
経済学部長

吉 見 宏

本年4月より、大学院経済学研究科長・経済学部長に就くこととなりました。町野前研究科長には、2期約4年間の任期中に経済学研究科および経済学部のために多くの貢献をなさいました。その集大成ともいえるのが昨年研究科内に設置されました、地域経済・経営ネットワーク研究センター（略称REBN）でしょう。

北海道大学は、いうまでもなく日本の基幹大学であり、我が国全体に貢献する人材の育成が期待され、また世界的な研究成果を求められる立場にあります。一方で、札幌という地方に位置している大学であることから、地域、すなわち北海道への貢献も期待されています。この2つの期待は、矛盾するものではないのですが両立はなかなか難しいものがあります。そのような中で、正直なところ、どちらかといえば地域に目を向けることが少なかったのが、北大の経済学研究科・経済学部であったかと思えます。

しかし、研究成果をどのように地域に還元していくかは、今や我々に求められる課題となっています。低迷する経済からなかなか脱することのできない北海道。それはしばしば製造業の立地が少ないことに理由が求められますが、反面、第一次産業や観光に強みを持つ北海道の潜在力は、誰しもが認めるところでもあります。

その力を引き出すお手伝いをするにはどうすればよいのか。それには正解があるわけではなく、これから試行錯誤していかねばならないことと考えています。しかし少なくとも、北大経済にREBNという地域との「窓口」はできました。この窓口を通じて、気軽にお声をかけていただく、REBNがそういう機能を果たせば、新しい北大経済学研究科・経済学部の姿が見えてくるでしょう。私の役目の1つは、そのような新たな北大経済の姿を具体化していくことだと考えています



ジェクトがスタートし、他の機関・組織等からもお問い合わせをいただいています。同窓生の皆様にも、ビジネスの中で経済学研究科・経済学部に関わり合いたいこと、ご協力できるかもしれないこと、そのようなことがありましたら、ぜひお気軽にお声をおかけいただければと思います。そのようなつながりも、同窓会としての新たなネットワークになっていくのではないかと考えています。

本年からは、北大全体として、同窓生に大学を訪ねてもらおうという、「ホームカミングデー」が始まります。これは今後毎年行われる予定ですが、経済学研究科・経済学部では法学部と合同で、両学部の同窓会と協力をいただきながら企画を進めていくことにしています。同窓生の皆様のご参加と、大学へのいっそうのご協力をお願いいたします。

北大生協は 北大での勉学・教育・研究活動の充実に貢献し
大学生活を豊かにする活動を進めています

オリジナルグッズ

好評発売中!!

記念品・おみやげに
どうぞご利用ください



北大生協オリジナルグッズ
Online shop

<http://www.hokudai.seikyone.jp/ordergoods/index.html>

北海道大学生協同組合 理事長 木村 純
札幌市北区北8条西7丁目 TEL 011-746-6218

大学生協北海道事業連合 理事長 酒井 徹
札幌市北区北8条西6丁目新和ビル TEL 011-726-9148



ごあいさつ

北大経済学部同窓会会長 上野 昌 美

(昭和47年卒業)



同窓会員の皆様にご挨拶28号をお届けします。今回の同窓会報も、同窓会のこの1年の活動状況の報告と同窓会員の近況などを中心に編集いたしました。

北海道大学経済学部では、本年4月に町野和夫教授を引き継いで吉見宏教授が研究科長・学部長に就任されました。町野教授には、同窓会に様々な面でご協力をいただきましたことに感謝いたします。吉見教授にはご寄稿をいただき、新たに設立された「地域経済・経営ネットワーク研究センター」についてご紹介をいただきました。平成23年10月27日にはセンターの設立記念シンポジウムが開催されました。本学の経済学部から地域経済・経営ネットワークの研究の新機軸が創出されることを皆様と共に期待し、同窓会としても可能なかぎりの応援をいたしてまいりたいと考えております。

平成24年3月22日には平成23年度の卒業式が行われました。経済学部の学部卒業生は203名、大学院の修士課程、博士課程、会計専門職大学院の修了者が62名、合計265名でした。大学を巣立っていく皆さんの今後の健闘を祈ります。卒業式終了後には、卒業生を送る会が開催され、同窓会から優秀な卒業論文に対して同窓会長賞を贈りました。

同窓会総会は平成23年10月21日に開催いたしました。記念講演会と懇親会は法学部と合同で行いましたが、法学

部との合同開催は三回目となり、着実に定着してまいりました。両学部合わせて約120名のご参加があり、記念講演に講師としてお招きした飯田哲也氏には、日本のエネルギーの将来について詳しくお話をいただきました。講演会後の懇親会では例年のように旧交を温める輪が広がりました。北海道大学は本年10月6日にホーム・カミングデーを開催します。本学卒業生に大学の現状を知ってもらうとともに、同窓生の懇親を深める趣旨の催しです。経済学部同窓会では、法学部同窓会とも協議して、総会・懇親会をホーム・カミングデーと同日に開催することといたしました。会員の皆様に、本年からの新企画のホーム・カミングデーと経済学部・法学部合同懇親会にあわせてご出席を賜りますようご案内申し上げます。フロンティア基金は、皆様のご協力により、平成24年3月末に累計で約23億7千万円の寄付を集めることができました。来々4月から寄付金を財源として、将来を期待される学生を対象とした奨学金制度が創設される予定です。集まった寄付金によって有用な事業が開始されますので、皆様方にはより一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、会報28号にご寄稿くださいました皆様や会報作成にご協力をいただきました皆様に心から感謝いたします。

株式会社 石川物産館
恵 愛 じゅる

代表取締役

吉 中 新太郎
(経 昭和34年卒)

〒064-0804
札幌市中央区南四区西四丁目十六番地
電話代表(011)271-0011番

弁護士 公認会計士

伊 東 孝
(経 昭和34年卒)

札幌市中央区大通西四丁目南大通ビル
TEL 011(271)2475
FAX 011(281)5809

からだが不自由な子供たちの図書館
公益財団法人 ふきのとう文庫

代表理事

高 倉 嗣 昌
(経 昭和36年卒)

業務執行理事

阿久津 良 二
(経 昭和37年卒)

札幌市西区平和三丁目五番地
TEL 011(665)4839

有限会社 バリアス

代表取締役社長

斎 藤 洲 男
(経 昭和37年卒)

札幌市中央区南一条西二丁目一番地
みたか南ビル

ぬくもりの宿
運河の宿 おたる
海の別邸
代表取締役
古 川 善 雄
(経 昭和37年卒)

札幌市南区定山渓温泉西四丁目
TEL 011(598)2345

株式会社 伊藤組

取締役会長

山 口 博 司
(経 昭和40年卒)

本社 〒060-0004

札幌市中央区北四区西四丁目一番地
電話直通(011)241-9352番

中川原・石黒税理士事務所

税理士

中川原 慶 憲
(経 昭和41年卒)

札幌市中央区南一条東一丁目一番地
第3泊ビル
TEL 011(271)8462

山田建一税理士事務所

税理士

山 田 建 一
(経 昭和41年卒)

札幌市北区北十九条西五丁目一番十九号
TEL 011(746)5646

札幌監査法人

代表社員 公認会計士

高 野 一 夫
(経 昭和45年卒)

札幌市中央区南一条西二丁目新永ビル
TEL 011(261)7512

山崎公認会計士事務所

公認会計士 税理士

山 崎 駿
(法 昭和45年卒)

株式会社ポイントプラス

代表取締役社長

加 我 稔
(教 昭和46年卒)

札幌市北区北九条西四丁目十番地三
エスターNガレリア
電話 011(738)8167

株式会社エーティーエルシステム

顧問

内 藤 治 生
(経 昭和46年卒)

山梨県甲府市相生1-4-23日本興亜ビル
電話 055(220)6456

弁護士

古 川 正 也
(経 昭和46年卒)

札幌市中央区大通西四丁目南大通ビル
TEL 011(261)6677

上野公認会計士事務所

公認会計士

上 野 昌 美
(経 昭和47年卒)

札幌市中央区南23条西9-1-25
TEL 011(522)8170

毛 塚 富 雄
(経 昭和47年卒)

株式会社 日本プランニングシステム

代表取締役社長

馬 場 哲 成
(経 昭和47年卒)

札幌市中央区南四区西一丁目一番地
第一札幌ビル
TEL 011(222)5262

濱向司法書士事務所

司法書士

濱 向 昭 一
(経 昭和47年卒)

芦別市北一条東二丁目九番十二
電話 01242(2)5295

前田公認会計士事務所

公認会計士

前 田 敬 道
(経 昭和47年卒)

旭川市八条通十八丁目四番二号
TEL 0166(35)5500



名誉教授便り

はじめての共同研究



小島 廣 光

札幌学院大学
教授・北海道
大学名誉教授

私は、二〇一〇年三月に、三十一年間務めた北海道大学を定年退職いたしました。現在は、江別市にある札幌学院大学経営学部勤務しています。今回、「名誉教授便り」を執筆する機会を与えられました。そこで、北海道大学時代から進めておりました私にとって、はじめての共同研究の成果を簡単に紹介させていただきます。

二〇一一年五月、われわれは『戦略的協働の本質—NPO、政府、企業の価値創造』を有斐閣より上梓しました。本書のテーマである戦略的協働とは、「NPO、政府、企業」という三つの異なるセクターに属する参加者が、単一もしくは二つのセクターの参加者だけでは生み出すことが不可能な新しい概念や方法を生成・実行することで、多面的な社会的価値を創造する「プロセス」を指します。

われわれが本研究に着手したきっかけのひとつは、二〇〇五年に非営利法人研究学会の研究プロジェクトとして、東日本研究部会の設置を求められたことでした。この研究会のメンバーが、本書の九名の執筆者、小島廣光（札幌学院大学）、平本健太（北海道大学）、後藤祐一（長崎大学）、畑山紀（札幌学院大学）、大原昌明（北星大学）、相原基大（北海道大学）、菅原浩信（北海学園大学）、横山恵子（神戸学院大学）、樽見弘紀（北海学園大学）です。

九名の専門領域は少しずつ異なっていました。このため、定期的に北海道大学で開催さ

れた研究会の場では、それぞれの専門的知見にもとづく多面的な議論が積み重ねられ、本書の骨格が徐々に形成されていきました。この意味で本書は、執筆者全員による文字どおりの協働の産物です。

本書の分析対象として、上述の戦略的協働の定義に合致する協働プロジェクトが探索されました。探索の結果、北海道NPOバンク、ジャパン・プラットフォーム、霧多布湿原トラスト、パシフィック・ミュージック・フェスティバル、グリーンフリーズ・キャンペーン、人道目的の地雷除去支援の会、北海道グリーンファンドの七つの協働プロジェクトが発見されました。

七つのうち四つが北海道の事例ですが、これは執筆者全員が北海道に縁があるからという訳ではなく、先駆的な協働プロジェクトを探索した結果、たまたま北海道の事例に行き当たったに過ぎません。なぜ北海道において先駆的な協働が多く見られるのか、という問いもなかなか興味深いのですが、その考察は別の機会に譲るとしましょう。

事例の中には、今般の東日本大震災において緊急人道支援のプラットフォームとして活躍しているジャパン・プラットフォーム、あるいは、福島原発事故で国家のエネルギー政策の大転換が迫られている今日、日本ではじめて市民の手によって発電用風車を建設・運用している北海道グリーンファンドも含まれています。このように、期せずして時宜に

かになった内容となったことは本書の特徴のひとつでしょう。

われわれが本書の執筆に際して強く意識したのは、事例の単なる紹介にとどまらず、同一の理論的枠組によって七事例を一元的に分析することでした。そこで本書では、先行諸研究の批判的検討をつうじて、オリジナルの理論的枠組である「協働の窓モデル」を導出しました。これが本書のもうひとつの特徴である、われわれは考えています。

刊行後、いくつかの媒体が本書に関心を示してくれました。たとえば、組織学会の機関誌である『組織科学』に書評が掲載されましたし、地元の『北海道新聞』も紹介記事を大きく掲載してくれました。こうした好意的な反響が素直に嬉しく、編著者としての苦勞も報われた思いです。

二十世紀を「巨大企業の時代」と呼んだのはピーター・ドラッカーだったでしょう。これに倣うならば、二十一世紀は「戦略的協働の時代」と名付けることができるかもしれません。本書は、「われわれは、戦略的協働の時代に生きている。ビジョンや企業家精神を持ったNPO、政府、企業が戦略的協働に挑戦するならば、多面的な社会的価値の創造は十分に可能である。」という文章で結ばれています。これが執筆者全員の偽らざる思いです。こうした思いの込められた本書が、わが国における戦略的協働の研究の一助となるとともに、協働の形成・実現・展開に対して、も何らかの具体的なかつ実践的指針を与えることができるならば、これに勝る喜びはありません。

以上述べましたように、私もまだ元気に頑張っています。同窓生の皆様も、体に気を付けてご活躍されることを願っています。

遠藤公認会計士事務所

公認会計士

遠藤 昭一

(経 昭和48年卒)

札幌市東区北二十一条東十八丁目三番三
TEL 011(783)81223

株式会社ジャックス

取締役会長

杉本 直栄

(経 昭和48年卒)

厚生病院と配置薬を命を守る

北海道厚生農業協同組合連合会

常任監事 公認会計士

中島 逸史

(経 昭和49年卒)

札幌市中央区北4条西1丁目1番地
電話直通 011(232)6525

弁護士

工藤 倫

(経 昭和50年卒)

札幌市中央区北五条西十二丁目一番地
ベルックス北ビル B館二階
TEL 011(261)5275

田中利男税理士事務所

税理士 中小企業診断士

田中 利男

(経 昭和50年卒)

札幌市中央区南二条西六丁目
狸小路プラザハウス五〇六
TEL 011(261)2061

株式会社ターフテック

代表取締役

宮本 裕司

(経 昭和50年卒)

北広島市大曲工業団地五丁目一番地二
TEL 011(377)4011

平成23年度 経済学部同窓会総会、懇親会

平成23年10月21日（金）に札幌のセ
ンチュリーロイヤルホテルにおいて平
成23年度の総会、懇親会が開催されま
した。今回も記念講演会と懇親会は法
学部との合同で行い、参加者は熱若男

女合わせ約150名と盛り上がりまし
た。
記念講演会では、講師に「時の人」
飯田哲也氏をお迎えし、「3・11以降
のパラダイム変換」と題したご講演を
いただきました。講演内
容は、日本の原子力発電
の現状と問題点を鋭く指
摘する一方、諸外国の取
組や他の発電エネルギー
との比較を混じえ、人類
史という大きな観点から
今後のエネルギー政策の
在り方をわかりやすく述
べていただきました。



総会にて前期決算およ
び次期活動計画が承認さ
れた後、法学部出身の現
役アナウンサーの司会に
より賑やかに懇親会が始
まりました。上野経済学
部同窓会長やご来賓の町
野経済学研究科長（当時）
らのごあいさつの後、各
円卓は年代、学部を超え
て旧交を温める和気藹藹
の熱気に包まれました。
最後は恒例の「都ぞ弥
生」の大合唱。こうして
両学部の合同同窓会は、
翌年の再会を約して無事
閉会しました。

卒業生を 送る会

平成24年3月22日、午前中に行われた卒業式に
引き続き「百年記念館」で経済学部・研究科の卒
業生を送る会が開催されました。この席上では優
秀な卒業論文に対し経済学部長賞と並んで同窓会
長賞が毎年授与されます。今回は経営学科工藤ゼ
ミの藤山陽太郎さんが受賞されました。論文名は
「いじめの経済分析」です。この会誌に藤山さん
から論文の要約と喜びの感想が寄せられています。
送る会では、上野会長により200余名の社会
や大学院等に巣立つ卒業生に対し力強い言葉
が贈られました。またこの会には例年、同窓会よ
り金一封（15万円）を寄贈し、多くの学部関係者
より感謝の言葉をいただいております。



受賞の喜びと感謝の想い

藤山 陽太郎



この度は、平成24年度特選論文同窓会長賞を頂
きまして、誠にありがとうございます。このよう
な名誉ある賞を受賞できたことを、北海道大学経
済学部の学生として大変光栄に感じております。

私は、卒業論文を16年間に渡る教育課程の集大
成だと考えています。私がこれまで当たり前のよ
うに学校に通い勉学に励んでこられたのは、熱心
に指導して下さいる教員の方々や同じ校舎で共に学
び合った友人たち、そして何より私の成長をいつ
も温かく見守って下さった両親の存在があったか
らに他なりません。ですから、卒業論文は自分が
16年間で学んできた成果をうまく支えて頂いた
方々に向け発信する又とない機会であり、これま
での感謝の想いを形にする気持ちで論文の執筆に
あたりました。

次に、卒業論文の内容を簡潔に説明させて頂き
ます。私の論文のテーマは「いじめの経済分析」
です。自身の教育実習での体験から、自分が大好
きな学校という場所を誰からも愛されるようなよ
り良い場所にしたいと強く思い、このテーマを選
択しました。

「いじめ」は現代教育が直面している最も深刻
な問題で、不登校や学力低下など他の様々な問題
の温床ともなっています。どうすれば「いじめ」
の問題を解決できるかを考えたときそもそも「いじ
め」の存在を認知する事ができなければ解決策を
講じる事は極めて難しいという考えに至りました。
ゆえに、どうすれば生徒が「いじめ」の事実を
教師に報告するようになるのかを経済学的観点か



「いじめ」認知率を向上させる効果があることが、報告率を最大化させる最適クラス編成が実現可能である事が示されました。以上が論文の概要です。

私は現在、地元北海道で銀行員として働いています。入行3ヶ月、まだまだ未熟な新入行員ではありますが、明るさと元気を大切に日々充実した社会生活を送っております。

最後になりますが、送る会やフロンティア基金等様々な側面から私たちが学生の学びを支援して下さい。経済学部同窓会様に平成24年度卒業生を代表し心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

ら分析することで「いじめ」認知率を向上させる事を目的とし研究を行いました。具体的なアプローチ方法としては、ゲーム理論とシミュレーション分析を用いて傍観者行動を分析し、傍観者の「いじめ」報告率を上昇させるためにはどうすれば良いのかを検討します。

シミュレーション分析は、自ら作成した本研究独自のシミュレーションモデルとコンピュータプログラムによって実行しました。また、シミュレーション設定の際に重要な値をプレイヤー構成に関しては単に任意の値を代入するのではなく、独自のアンケート調査を行い、現実的な値を導き出し使用しました。さらに、教育現場の実情をより詳細に把握するため現役の教員を対象としたインタビュー調査も行いました。

経済学部東京同窓会だより

経済学部東京同窓会は年1回の講演会・懇親会を中心に活動しておりますが、昨年は11月9日に銀座ライオンを会場に開催されました。

講演会は元トヨタ副社長で日野自動車相談役の蛇川忠暉さん（昭和36年 工学部卒）を講師にお招きし、「技術革新、経営革新への挑戦」をテーマにお話を頂きました。

当日は、ぜひ蛇川さんの講演を聞きたいという他学部OBの参加希望者も含め約60名の方が参集されました。

蛇川さんはご存じの通り、トヨタの若手技術者時代に「カラー」の世界最速エンジン製造ラインを作り上げ、役員になられてからは「レクサス」世界最新鋭工場構築、又購買部門の世界最適調達システム、さらに事務部門統括システム「グローバルITネットワーク」の実現等、「世界トップカーメーカー、トヨタ」の功労者のおひとりで、輝かしい功績をお持ちです。その後2001年に赤字に転落した日野自動車社長に就任されてからは、トップダウンで大改革を断行。受注生産への切換え、変種・変量生産技術の拡大、IT改革等を打ち出し、2004年度には創業以来最高益を実現されました。

蛇川相談役はトヨタ時代にご自分のやってこられた仕事、その仕事へのアプローチの過程等について分かりやすく、さらに当時、ご自分でまとめられ、社内で説明に使われた資料などもスライドで示しながら、誠に謙虚にお話しされました。その内容は成功事例よりも逆に失敗・挫折された例に重点を置かれておられ、蛇川さんのような成功者が成功譚を自慢されるのではなく、失敗事例をあげて講演される姿勢に大変感動いたしました。その

の骨子は、栄光は数々の失敗を乗り越え、謙虚に努力し続けた者にもみ輝く、という大原則を後輩の我々にお話しされたのだと思います。

尚、蛇川相談役は昨年末に「改革者、挫折を超えて」（日経BP社刊）を發表されました。ぜひ皆様でお読み頂ければと思います。特に若いころのお仕事で実際に使われた資料が沢山実物で掲載されており、私も現在、社内説明等をする際に大変参考になっております。



素晴らしいお話の後、蛇川さんも参加されて、懇親会となりましたが、いつもの通り和気藹々、楽しい会となり、最後に「都ぞ弥生」の大合唱でお開きとなりました。

今年は法学部と合同の東京同窓会の予定で、現在、講師・日時等を詰めている段階です。

決まりましたら、又皆様にHP等でお知らせいたしますので参加可能な方はぜひご参加下さい。

最後に、今年から経済学部東京同窓会の会長として、ジャフコ前副社長の毛塚富雄さんに替わり、明治ロジテック㈱社長の陣谷義直さん（昭和51年 酒井ゼミ卒）が就任されましたので、ぜひ盛り立てて頂ければと、お願い申し上げます。又永らく会長をお勤め下さいました、毛塚さん本当に有難うございました。心よりお礼申し上げます。

北大経済学部東京同窓会 事務局 佐藤高志（昭和48年 松井ゼミ卒）

牧田税理士事務所

税理士

牧田 秀 崇

（院経済 平成22年卒）
苫小牧市音羽町1丁目8番6号
TEL 011-4434-0385
URL: <http://www.tamaki.com>

中村泰道会計事務所

所長（公認会計士・税理士・行政書士）

中村 泰 道

（経 平成12年卒）
札幌市西区琴似一条六丁目四〇九〇二
TEL 011-213-7584
Email: y-nakamura@nakamura-cpa.jp

税理士法人ヒラマツ

札幌事務所 所長 社員税理士

石 靖 士

（経 平成12年卒）
札幌市中央区南一条西九丁目一
プロウデンスビル4号室
TEL 011-242-1414
FAX 011-242-1405

司法書士

遠 藤 雄 一 郎

（経 平成11年卒）

札幌市北区北16条西4丁目2番1号
TEL 011-728-7005
FAX 011-708-8848
Email: u16-end0693@f6.so-net.ne.jp

監査法人ハイビスカス

代表社員 公認会計士

堀 俊 介

（経 平成6年卒）

札幌市中央区大通西11丁目4-174 53 山京ビル4階
TEL 011-826-5265

不動産鑑定士 宅地建物取引主任者

目 黒 健 児

（経 昭和54年卒）

メグロオフィス株式会社 代表取締役
札幌市中央区南一条西六丁目十四番地
大友ビル四階（南一条通沿い南向き）
TEL 011-218-3566

不動産の鑑定評価と仲介

同窓会費のお願い

今回より「コンビニ振込み」が利用できます

同窓会の諸活動は言うまでもなく、会費納入で運営されております。

本年度も皆様のご理解の結果、29名の終身会費をはじめとして多くの方々に年会費をご入金いただきました。ありがとうございました。

同窓会事務局では、皆様からの貴重な会費を一円も無駄にしない覚悟で、予算範囲内の活動を続けております。

法人化以降、大学は同窓会に対し様々な面で多くの期待を寄せてきており、今後は同窓会としてもこれを正面から受けて責任ある対応をしていかなばなりません。

また、同窓会員相互の親睦や交流の催しも増やしていきたいと考えております。

会員の皆様におかれましては事情をご理解賜り、会費納入にご協力下さいますようお願い申し上げます。

年会費 3,000円

終身会費 30,000円

振込方法

●郵便局、コンビニの場合

同封の「振込取扱票」にてお願い致します。払込料は同窓会負担。用紙にご注意。

●銀行振り込みの場合

北洋銀行本店営業部 普通 0666955 北大経済学部同窓会 会長 上野昌美

北海道銀行本店営業部 普通 0754677 同上

○住所、勤務先などの変更については、事務局までお届け下さい。特に本学部の卒業生は転勤も多くつい届け出を忘れがちで、毎年かなりの会報が「宛先不明」で返ってきます。メール、電話を宜しくお願いします。



北海道大学認定

同じ札幌の地で歴史を育む「札幌唯一の酒蔵 千歳鶴」が、創業135年の伝統の技で丹念に醸し上げました。原料米は、北海道が誇る酒造好適米「吟風」を、仕込水には北海道大学苫小牧研究林の湧水を使用した北海道産100%のこだわりの逸品です。



◀斜めにも置くことができます。



180ml詰
800円(税込)

梅酒
雪の天使たち



500ml詰
2,000円(税込)

特別純米
ポプラ並木



500ml詰
2,500円(税込)

大吟醸
ポプラ並木

お問合せ先

札幌市北区北8条西7丁目
北大グッズ受注センター @エルムプロジェクト 担当/近澤
TEL011-708-0388 FAX011-708-0389 <http://www.hokudai.seikyoku.ne.jp>

札幌市北区北8条西4丁目(北大構内)
北大ショッパ 北大交流プラザ エルムの森ショッパ
TEL011-708-7540

売上金の一部は、北海道大学の運営費に充てられます。

●お酒は20歳になってから。●妊娠中・授乳期、また自動車・機械等の運転前、運転中の飲酒は避けて下さい。●お酒はおいしく適量を。●表示価格はメーカー希望小売価格(税込)です。

日本清酒株式会社 札幌市中央区南3条東5丁目2番地 ☎0120-012562 <http://www.nipponseishu.co.jp>

経済学・法学部同窓会対抗 ゴルフ大会

法学部の 5連覇を阻止！

今年で32回を迎えた恒例の経済学・法学部同窓会対抗ゴルフコンペが6月30日好天の札幌エルムカントリークラブで行われました。初参加者3名を含む23名が日頃鍛えた腕前を発揮し1人の落後者もなく和気藹藹にプレーしました。

わが経済学部はこのところ苦杯をなめていましたが、今回は個人戦、団体戦とも優勝し、一気に溜飲を下げる事ができました。実力に加えダブルペリアのメリットも生かしての文句ない(?)勝利でした。

賞品を豪華にするとの「撒き餌」も効いて若手の参加が目立ちました。そんな中、優勝(酒井さん昭和47年卒)、3位(森さん61年卒)、ブービー(Iさん49年)、メーカー(Aさん50年卒)と賞品も経済がほぼ独占しました。パーティーでも全員最後まで残って楽しんでいただけただけです。

来年は倍の人数でやろうと法学部と話合っています。是非、熟若男女、お誘い合わせのうへで参加願います。

なお、来年の開催は7月の第一日曜日とします。初参加、初心者大歓迎です。カートも用意できます。奮ってご参加ください。



北大フロンティア基金 HOKKAIDO UNIVERSITY FRONTIER FOUNDATION

北海道大学は、本学を目指す若者や本学で学ぶ学生にとってこれまで以上に魅力ある大学として、さらに世界の教育研究をリードする大学として、ゆるぎない地位を確保するため、独自の基金を設けることが必要不可欠との認識に立ち、創基130年を機に2006年10月「北大フロンティア基金」を創設しました。

基金では、とりわけ優秀な人材を育成するための奨学金制度の充実や留学生への支援などの学生支援を中心に、研究支援、学部等支援など様々な支援を行っていくこととしています。

北大フロンティア基金へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

遺贈制度によるご寄附について

「遺贈制度」は、ご自身の財産を遺言により、全部または一部を贈与することであり、具体的に遺産の受取人を指定することで、ご自身の遺志が尊重された遺産配分が可能となる制度です。

北海道大学では、この制度により本学へのご寄附をお考えの方々へ便宜をお図りするため、中央三井信託銀行及び三菱UFJ信託銀行と協定を結んでおります。

遺贈によるご寄附をお考えの方は、いずれかの信託銀行にお問合わせください。

寄附金の種類

一般資金	使途を特定しない寄附	
特定資金	寄附者のご意思により具体的な使途を特定した寄附	
	1. 学生支援	5. 卒業生・産業界等との連携支援
	2. 留学生・国際交流支援	6. 学部等支援
	3. 研究支援	7. 施設・環境の整備支援
	4. 社会貢献活動支援	8. その他

寄附の申込及び払込(振込)について

寄附金は、一括、分割のいずれかによりご寄附願います。

寄附の口数は、特に定めておりません。

払込取扱票(振込通知書)により、郵便局の窓口及び指定の銀行窓口のいずれかから、お振り込み願います。

なお、フロンティア基金趣意書等の関係書類をお送りしますので、お問合せ先にご連絡ください。

● お問 合 せ 先 ●

北大フロンティア基金事務室

〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目 北海道大学

TEL: 011-706-2017 FAX: 011-706-2092

URL: <http://www.hokudai.ac.jp/fund/index.html>

近況

附属図書館新棟がオープン

昨年7月4日に待望の附属図書館新棟がオープンしました。



オープンした新棟全景（右手建物）

2階から5階までの閲覧室は、全体で14万冊収容可能な書架と634席の座席からなり、ディスプレイしながら学習できるオープンエリアなど様々な利用者のニーズに応える設備が施されています。また、地下2階から地上1階には、図書52万冊収容可能な自動化書庫が設置されました。

以前は書庫だった場所が、高い天井からの光が差し込み、明るくて広々とした飲食可能なくつろぎの空間に生まれ変わりました。今回の新棟完成により、学生の学習、研究者の学術研究、一般市民の生涯学習の場として、広く学術の発展に貢献する「知の拠点」となることが期待されています。

海外オフィスの新設

昨年4月1日に本学2番目の全学的海外拠点として韓国ソウル市内に北大ソウルオフィスを開設し、昨年8月2日、北大ソウルオフィス開所式・記念講演会をソウル市内のソウル教育文化会館で開催しました。

開所式には、佐伯総長、上田一郎理事・副学長をはじめとする計25名の本学関係者と在大韓民国日本国大使館、在韓国日本機関・企業等、交流協定締結校等の関係者、同窓生、一般市民の方々など総勢約250名が出席し盛大に行われました。

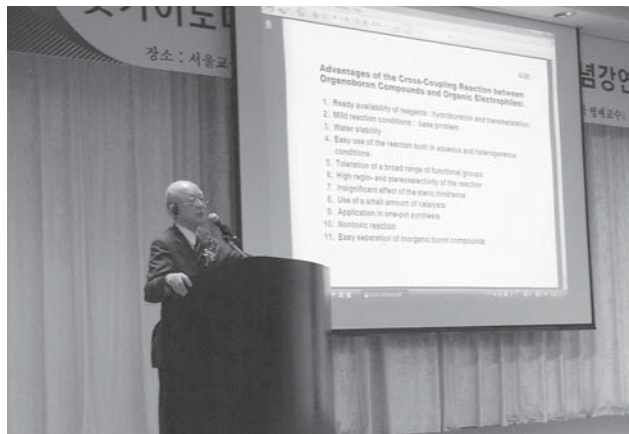
開所式の後は、「鈴木カップリング・ノーベル賞への道のり」と題した鈴木章本学名誉教授による記念講演会が行われました。また、本年4月1日にフィンランド共和国ヘルシンキ市のヘルシンキ大学内に北大ヘルシンキオフィスを、ザンビア共和国ルサカ市のザンビア大学獣医学部内に北大ルサカオフィスを開設しました。

6月1日、北大ヘルシンキオフィス開所式がヘルシンキ大学内で佐伯総長をはじめとす

る計19名の本学関係者と欧州の交流協定締結校、学術関係機関、駐フィンランド日本国大使館、ヘルシンキの一般市民など100名以上が出席し盛大に行われました。

8月28日には、北大ルサカオフィス開所式をザンビア大学内で開催する予定です。

今後、海外オフィスを通じて、各国における大学間・部局間交流協定校との連携強化、教員や学生の相互交流の促進などにより、学術面にとどまらない幅広い面での交流が、より一層強化されることが期待されています。



鈴木名誉教授による記念講演会

東京・大阪・名古屋で進学相談会を開催

北大では道外の受験生を対象に平成19年度から進学相談会を開催しています。昨年度は、11月に東京、名古屋、大阪の各地で順次開催しました。佐伯総長をはじめ、各学部やアドミッションセンターの教職員、在学生等、3会



質問に答える佐伯 浩総長（昨年）

場合わせて約90名が高校生や保護者への説明・相談に当たりました。3会場で合計約1,600名の参加がありましたが、参加者からは、「総長とお話する機会に恵まれてとても参考になった」、「疑問が解消され、北大で学びたいと思った」、「先生や北大生と実際にお話できてとても楽しかった」等の感想が寄せられ、本学への理解を深める貴重な機会となっています。

今年度についても、昨年度と同様に3都市3会場で開催することが決まり、より多くの皆さんにご満足いただける内容にするために準備を進めています。また、参加者への特典として平成25年度の一般入試用願書の配付や北大グッズのプレゼントを予定しています。

開催日時と会場

◇名古屋会場

10/27(土) 14:00～18:00(13:30開場)
名古屋ルーセントタワー／ビジネスサポートセンター16F／各会議室

世界銀行などの国際協力機構（JICA）や
ラオスでは、国際協力機構（JICA）や
ポール共和国を訪問しました。

平成24年度より海外の国際交流協定校、国
際協力力の現場、躍進する日系企業などグロー
バルなキャリアに関連する現場を通して、語
学研修や交換留学等の海外経験に挑戦するこ
とを促すファースト・ステップ・プログラム
（FSP）を開始しました。

平成24年2月19日（日）から3月2日（金）
にかけて、9つの異なる所属の学生24名が引
率教員とともにラオス人民共和国とシンガ
ポール共和国を訪問しました。

平成23年度より海外の国際交流協定校、国
際協力力の現場、躍進する日系企業などグロー
バルなキャリアに関連する現場を通して、語
学研修や交換留学等の海外経験に挑戦するこ
とを促すファースト・ステップ・プログラム
（FSP）を開始しました。

**グローバルに活躍したい学生を
支援する「ファースト・ステップ・
プログラム（FSP）」を開始**

◇大阪会場
10/28（日）12:00～16:00（11:30開場）
梅田スカイビル／タワーウエスト10F／ア
ウラホール
◇東京会場
11/3（土・祝）13:00～17:00（12:30開場）
住友不動産秋葉原ビル／ベルサール秋葉原
1F・2F／イベントホール



北大祭の只中の6月9日、多くの北大卒業
生、関係者の参加のもと「都ぞ弥生」百年祭

「都ぞ弥生」百年祭 盛大に行われる



ラオス人学生と記念撮影（ラオス国立大学日本人センター前）

国際協力力の最前線で活躍している日本人と現
場での業務や国際協力分野に携わるための
キャリア形成などについて意見交換を行いま
した。
また、シンガポールでは、本学卒業生のシ
ンガポール人と日本人同窓生との懇談の場を
設定し、同窓生とのネットワーク強化にもつ
ながることができました。本プログラムの参
加学生は、帰国後、交換留学や語学研修など
具体的な行動計画をとりまわめて、セカン
ド・ステップに進むことが期待されています。



が盛大に行われました。この日は佐伯総長、
横山恵迪寮同窓会長らのごあいさつに続き、
式典、コンサート、映像紹介が行われ、そ
の後中央ロウンにて大合唱、さらに夕刻よ
り京王プラザに場所を移し寮歌祭が行われ
ました。
明治45年に二人の恵迪寮生（作詞横山芳
介、作曲赤木顕次）によって作られたこの
歌の誕生から百年。北の自然と憧れを見事
に表現しさらに荘厳の中にも軽快な旋律で
あることから、今日に至るまで言わば北大
の「校歌」として定着してきました。公私
を問わず北大関係者が集う催しの最後には
必ずこの歌が唱和されてきましたが、昨年
より大学の新生入生全員にCDが配布される
などの企画も行われており、さらに広く歌
い継がれていくことでしょう。

札幌のお部屋探しならノースステイ

North Stay

North Stay は、札幌でウィークリー・マンスリーマンションや
家具家電付の賃貸マンションを運営しております。
ご旅行や出張など、お客様のあらゆるシーンにあわせて、
快適な住居空間をご提供させていただきます。

（ノースステイホームページ）
www.north-stay.com/

札幌市内トップクラスの情報量

札幌オフィス検索

札幌オフィス検索は、札幌の賃貸事務所・オフィスなどへ移転を
お考えのお客様に最新の物件情報をご紹介します。
ご紹介物件数・更新頻度ともに札幌エリアではトップクラスです。
仲介手数料半額による格安なコストでの移転をサポートします。

（札幌オフィス検索ホームページ）
<http://of-sapporo.jp/>



ファイバゲートグループ
株式会社 賃貸生活
代表取締役 猪又 将哲

こちらのフリーダイヤルまでお気軽にお問い合わせください

【ノースステイ受付窓口】

フリーダイヤル
0120-277-271

〒060-0061

【札幌オフィス検索窓口】

フリーダイヤル
0120-989-865

〒060-0061 北海道札幌市中央区南1条西7丁目10-3 第28桂和ビル2階

TEL 011-330-0077 / FAX 011-222-7093



□ファイバゲートのホームページ
<http://www.fibergate.co.jp>

同窓生の著書紹介



私の楽しみ——俳句と囲碁——

加藤 剛規（晃規）

（経済学部経済学科 昭和35年卒業）

学校を卒業して五十二年、仕事を離れて十二年になる。

一番よかったことは時間に縛られることなく過ごすことが出来ることである。

昔、ギリシャでは時間に縛られて生活している人は奴隷を意味していたとのことである。奴隷には二種類あったそう。

一つは、役務提供型の奴隷で所謂召使である。

もう一つは、知識提供型の奴隷で王侯・貴族等の子弟の教育係（家庭教師）である。

大分前に、日経新聞の文化欄で故中野孝次氏が「一般的には、老人という暗いマイナスイメージがあるが、自分はそうは思わない。すべての時間を自分の思いどおりに使えるからだ。」と言っていたが、私も全く同感である。

中野氏の時間の使い方は、読書、執筆、囲碁、そして犬の散歩だそうである。

私の場合は、俳句、囲碁、美術鑑賞、古典文学鑑賞、吟詠、散策等に時間を使っている。この中で一番時間と頭を使っているのは、俳句ではないかと思う。

次いで囲碁（へば碁）である。

俳句については、平成十四年三月に俳句結社の主宰のすすめもあり句集『晃規句日記』（天満書房）を出版した。所属結社は「童子」である。（一応現在、同人である）

平成元年から十三年迄の十三年間に詠んだもので、言わば俳句で綴った自分史である。この句集を両親、平成十四年二月に亡くなった弟と傍目八目で批評し支えてくれた妻

に捧げた。これも時間奴隷から開放されたことにより実現したものであると思っている。

汗拭いて小さくなりし父の顔

きな粉餅在りし日の母此処にをり

逆縁の役回りとは彼岸前

妻大事俳句大事や去年今年

『晃規句日記』のあとがきの最後に載せた四句である。

平成十五年十一月に『右脳を働かせ五七五で自分史を作ろう』（文芸社）を出版した。

この本は平成十六年五月二十日付「毎日新聞」で取り上げられ紹介された。

平成十七年十月から読売・日本テレビ文化センター（よみうりカルチャー）金町で「右脳俳句で自分史作り」という講座を担当している。今年で七年目である。

平成二十一年十一月に『季語体験』（文芸社）を出版した。

なお、『晃規句日記』『右脳を働かせ五七五で自分史を作ろう』『季語体験』の三冊とも加藤晃規というペンネームで出版している。俳句は、一人でも仲間とも、また、屋内でも屋外でも出来る。

句作は創作活動でもあり、右脳を刺激するので惚け防止によいと言われている。

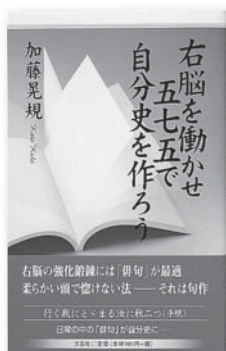
余り片肘はらずにゆつくりと生涯青春・生涯俳句で行きたいと思っている。

囲碁（へば碁）については、月二回やっている。

一つは、北大東京同窓会のエルム囲碁サロン（毎月第二木曜日午後）である。場所は「北大東京同窓会事務所（東京サピ



「季語体験」



「右脳を働かせ五七五で自分史を作ろう」

アタワー十階」。

もう一つは、元会社仲間三人との鳥鷲の戦いである。

此方の場所は仲間の一人が一橋大卒の関係で「如水会館」。

碁敵が酒友となりし日暮れ時（これは川柳、無季）

碁敵が酒友となりし秋の暮（これは俳句、秋の暮）

碁敵が酒友となりし秋の暮（これは対局後、反省会を兼ねて軽く一杯やるのが通例である。これが本当に楽しい。こちらも俳句同様、生涯青春・生涯へば碁で行きたいと思っている。

七月や光輝高齢仲間入り

後期高齢でなく光輝高齢で参りたいと願っている。

（追記）「右脳俳句で自分史作り」というタイトルでブログを時々書いている。ハドルネームは「金太郎」である。

お暇の折にでも、覗いて頂ければ幸いです。

www.suda.co.jp/

その思い、私たちが届けます。

須田製版では、お客様の思いを印刷という形でより多くの方々にお届けいたします。

お店のPRがしたい

学校案内をつくりたい

チラシをつくりたい

会社案内をつくりたい

記念誌をつくりたい

ホームページをつくりたい

機関誌を発行したい

デジタルサイネージでPRしたい

TOTAL PRINTING

株式会社 須田製版

札幌市西区二十四軒2条6丁目 TEL.011-621-1000 FAX.011-621-1500

●旭川支社 ●釧路支店 ●苫小牧支店 ●関東支店 ●滝川営業所 ●帯広営業所 ●北見営業所 ●東京営業所



順調な就職状況

今年の経済学部、研究科卒業生の就職は、日本経済の低迷による極めて厳しい就職状況の中にあっても、順調な結果のようだ。新しく社会に巣立った卒業生の活躍を心から期待したい。

就職先一覧(学部、研究科)

- 【5名】北海道電力、北海道銀行、札幌市
- 【4名】トヨタ、S M B C日興証券、北洋銀行
- 【3名】NTT東日本、三菱電機、野村証券、北海道JR、りそな銀行
- 【2名】LIXIL、JT、ダイナックス、三菱重工、富士フイルム、日立製作所、大和証券、みずほフィナンシャルグループ、東京三菱UFJ銀行、商工中金、道信用農業協組連合会、アメリカンファミリー生命、トーマツ、新日本有限責任監査法人、北大、小樽商大、札幌国税局、北海道、道警
- 【1名】長谷工、田島ルーフ、央幸設備工業、日本甜菜糖、サントリー、きのとや、伊藤園、ニチパン、大塚製薬、BASFジャパン、JFEスチール、マツダ、デンソー、東芝、新日鉄エンジニアリング、IHI、松田産業、川崎重工、リコー、エッセー、大窪鉄工所、凸版印刷、サンゲツ、イオン、あおぞら銀行、三井住友銀行、農林中金、日本政策金融公庫、北陸銀行、群馬銀行、第四銀行、日本生命、住友生命、第一生命、明治安田生命、東京海上日動火災、かんぽ生命、丸紅、三井物産、三菱商事、内田洋行、日本通運、日本郵政、鴻池運輸、商船三井、野村総研、イオンクレジット、JT北海道総合商研、リライブル、レバレッジズ、進学会、第一ホテル、帝国データバンク、さくら総合会

- 計、ホープス、エプソン販売、キャノンマーケティングジャパン、テレビ北海道、北海道テレビ、NTT西日本、ほくでんサービス、医法夕張希望の杜、トイホーリゾー、北の達人コーポレーション、KDDI、ワークスアプリケーションズ、NTTドコモ、京セラコミュニケーションズ、日本中央競馬会、東北

電力、北海道ガス、パナソニックシステムソリューションズジャパン、トライアルカンパニー、ロックユアライフ、ナオ、東芝エレベーター、三井不動産販売、三菱地所、アクセンチュア、仰星監査法人、むらさみ経営グループ、国税庁、経産省、札幌法務局、道財務局、富山県、青森県、東京都、苫小牧市、千歳市、旭川市、北見市、いわみざわ農協、ホクレン農協組連合会、津別高校、秋田大、日本経済大学院

先生(教授、准教授、助教)の異動状況

先生の昇任、定年、辞職、任期満了についての問い合わせが多いため、過去2年度分を掲載します。発令順、敬称略。なお、次回から毎年度の異動を掲載します。

〈平成22年度〉

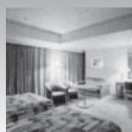
谷口 勇仁	昇任	北大大学院経済学研究科・准教授から教授へ
井上 久志	定年	同
木村 俊一	辞職	関西大学・教授へ

〈平成23年度〉

橋本 努	昇任	北大大学院経済学研究科・准教授から教授へ
鈴木 輝好	昇任	同
鈴川 晶夫	昇任	北大公共政策大学院・准教授から教授へ
柿沢 佳秀	昇任	北大大学院経済研究科・同
小林 隆史	辞職	東京工業大学・特任助教へ
松山 直樹	辞職	兵庫県立大学経済学部・講師へ
天野 大輔	辞職	小樽商科大学・准教授へ
橋本 真千子	満了	
井上 久志	満了	

センチュリーロイヤルホテル

会議・ご宴会から婚礼・法要まで



デラックススイート



エグゼクティブフロア・プラン



スカイレストランロンド



郷土和食堂北の路



チャイナガーデンティファニー



7万枚のバラの花びらを敷き詰めたチャペル



センチュリーロイヤルホテル

〒060-0005 札幌市中央区北5条西5丁目 TEL. 011・221・2121

www.cr-hotel.com

札幌センチュリー

検索





美唄宮島沼のこと

臼田 正 (昭和47年卒業)

皆さん、こんにちは。平成二十年に定年退職し現在もその関連会社で充実した日々を送っております。今回は趣味のバードウォッチングで毎年訪れている美唄宮島沼について、勤務先社内報に寄稿したものに若干の加筆修正を加え、近況報告とさせていただきます。

宮島沼は春と秋に数万羽のマガンが立ち寄ること知られ、平成十四年には、ラムサール条約に登録されました。マガンはユーラシア大陸から北米大陸に広く分布する種ですが、



ここで見られる一群は、仙台近郊の伊豆沼を中心とした一帯や秋田県八郎潟などで越冬し、極東ロシアを繁殖地としています。そして、四千キロにおよぶ渡りの途中、ここ宮島沼を中継基地としているのです。私が良く利用する八戸―苫小牧航路でも、シーズンには洋上を飛ぶ群れをしばしば見かけます。また、近年の最新の機材を駆使した調査により、渡りの行程はかなり正確に解明されており、それによると繁殖地へ向かう春の渡りの際は、越冬地から宮島沼までの約千キロを、主に耕作地の落ちモミを食べて徐々に北上します。宮島沼到着後は、周辺の耕作地で同様の餌採りをして数週間にわたり体力を養い、ここから繁殖地までの約三千キロを、一昼夜以上の時間をかけて一気に渡ります。今更ながら太古の昔から営々として続いていた、自然の営みのスケールの大きさに感嘆してしまいます。

マガンの飛び立つ光景を見て詠んだ一首です。

湧き起こる 熱き羽音は 空に満ちて

三千キロを マガン旅立つ

マガンは、夕刻になると、整然と隊列を成して、周辺の耕作地から一斉に、ねぐらとしている沼を目指して帰ってまいります。ある年の春、私は満月の日にこのマガンの姿をカメラに収めようと考え、月齢表を眺めて、撮影日を検討しておりました。なお、宮島沼でマガンを観察できる期間は、三月下旬～五月上旬ころと九月下旬～十月下旬ころですが、多数のマガンが観察される最盛期は中間の二週間程度に限定されます。すると、この

年は四月二十八日が満月に当たっているではありませんか。よしよし。マガンが一番数を増やすころですよ。しめしめ。密かにニンマリした私はその日の一週間ほど前から天気予報を入念にチェック致しましたよ。ところが、当日が近付くにつれ、二十八日の空模様はどうもよろしくないようなのです。さらに、前々日時点では「最悪！」なことに十五夜のお月さまは「雲にお隠れになる」とのことでした。やややや、うーむ。これはいかん。気落ちした私でしたが「まてよ！」と、前日の二十七日の予報を確認しましたね。「おー！」絶好の撮影日和です。十五夜の前日の十四夜ですが「ま、いいか」と納得した私は、勤務終了後沼へ向かったのです。到着してみると、十四夜でも「ま、いいか」と納得したらしきお歴々が撮影機材を構えてブラリと並んでいましたね。まあ、考えることは皆さん一緒でした。日没後、中天に上った月を背景にして、次々と沼へ帰ってくるマガンの姿を何とか撮影することができ、大満足の私でした。



私の近況

―日ハムのことなど―

岡 茂 憲 (昭和56年卒業)

経済学部卒業から31年が経った。学部よりもサークル(フォークソング研究会)の部屋にいた時間の方が長かった不真面目な学生だった。卒業後、道内のテレビ局に就職して、番組制作現場に約20年、現在は財務や経営計画を担当している。いわゆる現場時代は主にスポーツ中継を担当していた。巡り合わせとは面白いもので、ローカル局ゆえ、それ

この日の印象を詠んだ一首です。
見上ぐれば ただ神々し マガン飛ぶ
群青の空 冴えわたる月



まではバラエティも、情報番組も、スポーツも「制作部」という組織で制作していたものが、2004年の日本ハムファイターズ移転を機に「スポーツ部」なるものが誕生した。立ち上げに関わったわけだが、スポーツ中継に関わるものにとっては至福の時間だった。駒大苫小牧高校の3年連続甲子園本大会決勝進出、ファイターズの移転3年目にして



日本一の快拳。多忙な時間であったが、望んでも得られることの少ないエポックだけに、あつという間に過ぎ去っていった。特にファイターズに関しては初めてのことはかりで非常に苦労したが、今となつては懐かしい限りである。自分も含め、それまでは圧倒的にGファンが多かった北海道に、パ・リーグのしかもファイターズというチームがやってくる。日常的にプロ野球がある生活など想像もつかない中で、フランチャイズを持つ先輩系列局からは、「とにかく選手と懇意になり、球団に食い込むこと」というアドバイスを受けた。ただ、そもそも知っている選手がいないう。細い糸を手繰るようにして、一人の選手を足掛かりにして若い選手や、球団幹部へつながる道を探った。その甲斐あつてか移転以来9年間に渡り、ホームゲームの中継本数は1位を堅持している。当初は道民に浸透するのか、という素朴な疑問もあつたが、今シーズンここまでは全局の平均視聴率が20%超え

私の近況

―つれづれなるままに―

宮下 隆 幸 (昭和53年卒業)

談志が死んだ。ジョブズが成仏。総書記の葬式。

文化、経済、政治に良くも悪くも影響力の大きかった三人がなくなった2011年が終り2012年になったばかりと思つていたらもう7月。年をとると月日のたつのが速いというのは先輩諸兄から聞いていた話であるが、身を持つて実感し始めた

次男の成人を機に、25年連れ添った女房

と、道内における最優良コンテンツに成長した。移転以来、昨年までの8シーズンでリーグ優勝3回(うち日本一が1回)、Bクラスだったのは2005年、2010年の2回のみ。今シーズンも、この原稿を書いている段階でロツテに次ぐ2位をキープしており、今からポストシーズンが楽しみである。弊社中継の際は札幌ドームで観戦しているが、移転10年目を来年に控え、球団が目指す「スポーツコミュニティ」が北海道にも確実に浸透していることを実感する。情報発信という形で微力ながらもその実現の一助になればと思う。プライベートでは、夏の札幌と秋の東京年に2度あるサークルのOB会に参加することがここ数年の楽しみである。特に最近はそのバンドメンバー全員が揃うことが多く、毎年課題曲を決めて参加するものの、イメージばかりが先行し、身体が反応しないことが多い。歳は取りたくないものである：

と離婚して、6年。バツイチやめめが日常的生活の場に暮らしては減入るだろうと、住宅街を去り、非日常の典型である、観光地の江の島に居を移してから、5年。仕事に面白さを感じなくなり、人間関係のわずらわしさにも負け、後先考えずに職を辞してから2年半。この間の時間の経過の速いこと、速いこと。まさに、あつという間であつた。



21歳薄野にて

たまに旅行し、たまにボランティア活動に参加し、たまに友人と盃を交わすの繰り返し。毎日がこんなものなんだらりでは、お天道様に申し訳がたたない。

朝起きて居間のマッサージュチェアに座り込み、富士山と相模湾を臨み、「ああ、良い天気であることよ」とつぶやくとほぼ一日の勤めを果たした気になってしまっている。もしかすると、ミドリムシのほうが、小生より人生を考えているのではと、大きく反省もしてみる。

敬愛する、故真野先生が逝去された年齢にまで、もうちょっとである。さらに言うなら、ゼミで、学問、人生の様々を教えていただいたのは、先生、40代の半ばすぎ。嗚呼。

共産主義はやがて滅びるが、それは資本主義の勝利ではない。金融が資本主義の主役になるうとしていくが、金で金をかせぐことだけが経済の中心になることは崩壊の第一歩である。と、喝破された。正直、そのときはよく理解できない部分もあつたが、バブル崩壊とそれに続く現状を冷静に観察するならば、その眼力と学に根ざした推論の確かさに改めて敬服する。

為替、株をネットですりすることが資本主義の王道のようになり、何の付加価値も産んでいないのに、多くの富をかつさう。そしてそれに憧れ、楽をして稼ぐことに群がる遊民ともいべき若者たち。

鉄を鍛え、糸を紡ぐ人、地を耕し、水に網を投げる人々は、負け犬として扱われる。まじめに働く層の辛薄さを見ると、改めて師の偉大さを感じる。

社会変革には何の寄与も出来ぬものの、小生の行き様はこれで良いのか。さすがに、人生、朱夏は過ぎたといえ、玄冬にはまだ間がある。充実した白秋を過ごし後世に名は残さぬとも、ミドリムシには勝

利の優越感を持つて死んで生きたい。長年の友人と盃を交わしつつ、語り合つた。

小生より10数年年長の彼は、ニヤリと笑い、小生のあせる気持ちを見抜きながらこういつた。心配しなくても世界は自浄するよ。そりや、一時的に経済はボロボロになるが、それはお前さんのせいじゃないから大丈夫。ちゃんとしたやつが、ちゃんとしてくれるのは弁証法的唯物史観や、その他の史観からみても間違いないところ。(なんとなく、分かった様な分からない様な)

それよりも、白秋は何かに立つ年齢ではない。残り人生考えてあせつてもしょうがない。人生華々しく、プラスで終えようとするんじゃないや、マイナスで終えないようにすりゃいいんだよ。お互い、ここまで人生、仕事でなしたこと、迷惑をかけたことがおそろくイーブン。家族を、楽しめたことと悲しませたことも、またイーブン。残った人生で借りを作らなきゃ立派なもんだ。

太るな、やせよ。病に冒され、子供や知人に心配かけるのはマイナス。贅を慎め。老後は自分で結末をつけないければ、マイナス。

今後とも、電車で席を譲られるな、あらゆることでいたわられるな。若者に借りは作るな。……

なんとなく、肩の力が抜け、そうか、それで良いのかと安心した。結果、高邁な理想をうっちゃった小生は、いつもの限界を忘れ、千代桜の純米をぬる燗で心行くまで楽しんだ。翌日は、当然のごとく、強烈な二日酔い。

ミネラルウォーターのボトルを抱え込み、居間のマッサージュチェアにとつくと座り込み、富士山と相模湾に満足しながら、「本日も良い天気よ」と一日の勤めを果たした。

駄文恐縮



大学生活

吉田 羽都希 経営管理コース 修士課程1年

私の学部時代は、食・部活・旅行でした。

バイトでお金を貯めて、おいしいものを食べて飲んで、部活で道内・道外に行って、国内外に旅行して：どうしたら自分の好きなことがたくさんできるかということだけを考えて生活していました。新しい経験をして、いろんな人に出会って、楽しんでる間にあっという間に大学生活は過ぎてしまいました。

大学での勉強に関しては、ただ授業を出ているだけで、完全に受け身で、学問に興味・関心を持ち自分なりに理解を深めていくなんて考えたこともありませんでした。『自ら学ぶ』ということを経験したのは、卒業論文の執筆にあたって先行研究を探したり、読んだりしたときだと思います。そのときに初めて、学ぶことの魅力にふれました。

大学院に入り、環境は劇的にかわりました。

学部とは違ってすごく授業内容が濃く、まだ今は日々の授業をこなすので精一杯です。おそらく今が人生で一番勉強しています。ただ、今までと一番違うところは、学ぶことが楽しいと感じていることです。

自分の好きな分野の理解を自ら深め、研究することができるようになったと思います。そのために、今授業で得ていることをこれから自分が研究活動をする際のツールとしていくことが大事だと思っています。

でもやっぱり大学院でもおいしいものを食べたり、旅行に行ったりしたいと思っています。そこで得られる友人や経験は、私にとってはとても大切なことだからです。

勉強や研究活動を楽しんでいくことが、私の大学院生活の理想です。



再び学ぼう

八重樫 幸一 (昭和45年卒業)

一・勉強会の開始のきっかけ

今から5年少し前の平成18年11月に親子ほども年齢の幅のある卒業生が一堂に会して「酒井ゼミ(金融論)北海道同窓会」が札幌全日空ホテルで行われた。

その翌年から忘年会と称して若手(といっても50歳以上の人たち)が年に1〜2回集うようになった。

そうこうしているうちに、私は内海ゼミ(統計学)のあるOBから内海ゼミではゼミ

OBの人たちが集まって定期的に勉強会をやっているとの話を耳にした。そこで酒井ゼミでも勉強会をやってはどうかと忘年会の席上で提案したところ数名の賛同を得た。

メンバーは、昭和44年卒の小林真之、同45年卒の浅田政広・小生、同51年卒の米澤修吾、同52年卒の南幸衛・渡辺敏昭の計6名である。

二・勉強会の進め方など

1. 勉強会の代表者は、最年長の小林真之さんをお願いした。彼は今から40年ほど前の私の学生時代にも、酒井ゼミの最上級生あるいは大学院生としてゼミの中で指導的役割を果たしていたので適任だと思った。その実績もありすんなり応諾いただいた次第である。

2. 勉強の対象分野は、金融論とか、経済学といった狭い分野に特定せず、政治・経済・経営、歴史、哲学・思想・宗教、芸術・社会、農業等々、要するに人間の社会生活に関わりのあると思われるすべての分野とした。

実社会も、政治、経済、宗教など複雑に絡まり合っているのが実態であり、世界の動きを総合的に理解しようとするれば、分野を特定すべきではないと考えたのである。

3. 勉強会の開催頻度は、隔月とした。

そして初回は代表者の小林さんから始めることとした。まず当番の人である小林さんが使用するテキストを選定し、他の5名はそのテキストを購入・読了の上勉強会に参加するのである。読書会当日は、テキストを選定した人(初回は小林さん)がコメンテーターとしてポイントを説明し、その後議論を深めていく方式を採用した。

2回目以降は、年齢順にコメンテーターになり、同様の形式で勉強会を進めてい

くのである。読書会が終了すると、楽しい懇親会に移るのである。

4. 会場については、当初幹事役の南さんが場所探しにたいへんな苦労をしたが、そこで母校の北大に相談したところ、クラーク会館の使用が認められたのである。今では場所の心配をせずに勉強会に臨むことができる。大変ありがたいことであり、深く感謝している次第である。

三・勉強会の実情

勉強会は毎回土曜日に開催している。平成21年4月18日を第1回とし、以後平成24年4月14日までの約3年間で計16回開催している。参加者の問題意識や関心事は区々であることから使用テキストも多彩である。

ここに使用テキストの書名を開示してみたい。

- ① 強欲資本主義 ウォール街の自爆
- ② 逆説の日本史9 戦国野望編
- ③ 資本主義はなぜ自壊したのか
- ④ マルクスは生きている
- ⑤ イラン 世界の火薬庫
- ⑥ リンゴが教えてくれたこと
- ⑦ 始まっている未来
- ⑧ ヒンドゥー教 インドの聖と俗
- ⑨ 大槻教授の最終抗議
- ⑩ 2014年日本国破産 警告編
- ⑪ デフレの正体
- ⑫ 分かち合いの経済学
- ⑬ 不実な美女か 貞淑な醜女(ブス)か
- ⑭ 会社は毎日つぶれている
- ⑮ 同上
- ⑯ 消費税のカラクリ

四・最後に

このような私的な勉強会のごときものを半ば公的な「北大経済学部同窓会報」に掲載することについては異論があるかも知れない。だが私の世代は70年安保をぐぐり抜け、そ



の後の日本経済の成長と共に歩み、バブル経済にまみれながら、今「団塊の世代」として日本政府の財政的支出に大きく依存しながら生きていかなければならない。

しかし間もなく団塊の世代の人たちは完全退職を迎えるが、国の財政支出に頼って生きていくことが許されなくなりつつあるように思える。さあもう少し勉強しよう。



卒業50周年行事

斎藤 洲 男 (昭和37年卒業)

卒業50年を迎え人生の第4コーナーに差し掛かり、ぼんやりとゴールを想像できる年齢になった。我々が入学した昭和33年時の平均寿命は男65、女69歳であり、振り返ると今、その年をはるかに上回っている。今やその平均寿命も男86・6歳、女90・5歳となり、まだまだ最後の人生には期待が持てると考えている。

そうした中、記念すべき50周年を盛大に祝う次の60周年を目指して仲間が一堂に会し、過去を懐かしみながら今後の人生について語り合う場を持つとうということになり、新年早々から準備に入った。元々、33年北大文類に入学した280名はたいへんまとまりの良い仲間で、卒業後も東京や札幌でいろいろな会合を持ち、25年前には今回同様、25周年を祝して札幌に集結しゴルフ会や祝宴、記念誌の発行等を行い、大いに盛り上がった。事務局を担当していた片桐徹(故人)が会を北大賢人会という大それた名称にして、先輩諸氏から大いに冷やかされた思い出が蘇る。

さて本年7月31日、卒業50周年記念行事を無事かつ盛大に終えることができた。当日は午後1時半にクラーク像前に集合、貸切バスにてモデルバードン、遠友学舎、総合博物館、北

キャンパス、平成ポプラ並木等を移動、見学し、その後中央ロウンで北大応援団と一緒に「都ぞ弥生」などの寮歌を合唱した。そして午後6時から定山溪「ぬくもりの宿 ふる川」にて大祝宴を行い、心ゆくまで旧交を温めた。

このほか、北大フロンティア基金への基金贈呈(45万円!)や記念ゴルフ会開催(前日)、そして記念誌の発行も実行した。記念誌(写真)は約50名による回顧、時評、身辺雑記、未来への提言、苦言等々、自由に投稿していただいたものを纏めた。

いま振り返ってみると、やはり若い時から繰り返し仲間が集まれば酒を酌み交わし語り合う場を持ってきたことが、今の結束を作り上げてきたのだと思っている。今後昭和37年卒業の仲間が更に末永く、楽しく懇親が持てることを強く期待している。

いま振り返ってみると、やはり若い時から繰り返し仲間が集まれば酒を酌み交わし語り合う場を持ってきたことが、今の結束を作り上げてきたのだと思っている。今後昭和37年卒業の仲間が更に末永く、楽しく懇親が持てることを強く期待している。



平成24年度北大経済学部同窓会総会・懇親会のご案内 — 今年の企画は一味違います! —

毎年11月の平日にホテルにて、講演会→同窓会総会→懇親会というパターンで開催してまいりましたが、今年は大学の「ホームカミングデー」と同じ日の10月6日(土)の午後3時から行います。ホテルに代わり今年は大学のキャンパス内、しかもあの「軍艦講堂」や「中央食堂」が会場です。

従来講演会に代わるものとして、今年は経済、法学両学部の名物先生による「なつかし講義」(各30分程度)を企画しました。経済学部からはご存知、

小林好宏名誉教授を招請(法学部の人選は未定)しましたので“出席”願います。

その後、経、法学部は分かれて各総会を行った後、再び両学部の同窓生は歩いて数分の「中央食堂」に移動し合同で懇親会を行います。

若干古びた建物ですが料理は「ホテルと同じくらい(?)のレベルに」との生協店長のお言葉もいただき、かつ会費もグッと割安にしました。皆さまの積極的なご参加をお待ちしております。

日 時: 平成24年10月6日(土)

15:00~16:30 経法両学部の名物教授による「なつかし講義」(軍艦講堂)

16:45~17:15 経済学部同窓会総会(同)

17:30~19:00 懇親会(中央食堂:北11西8博物館と工学部の間)

会 費: 3000円(同伴のご家族は2000円)

なお、恐縮ですがご出席の有無を9月20日までに下記あてご連絡いただきますようお願い致します。

連絡先: 北大経済学部同窓会事務局 岩本栄一

☎(FAX同) 011-706-4113 メール dosokai@econ.hokudai.ac.jp

平成24年7月期 収支報告書

自 平成23年10月1日 至 平成24年7月31日

	項 目	金 額(円)	備 考
収 入	前 期 繰 越 金	4,079,512	
	会 費 収 入	1,326,520	終身会費30名ほか
	広 告 収 入	300,000	会報27号
	総 会 収 入	360,000	
	そ の 他	19,243	名簿売上、金利
	計	6,085,275	
支 出	消 耗 品 費	84,287	パソコン買換えほか
	会 議 費	0	
	総会懇親会費	296,000	
	助 成 金	175,000	卒業祝賀会助成、優秀論文賞
	通 信 費	292,430	会報27号発送代233,940円ほか
	会 報 作 成 費	346,585	会報27号
	旅 費	60,900	東京同窓会出席ほか
	事 務 費	500,000	事務局実費
	印 刷 費	13,314	
	雑 費	15,813	
	計	1,784,329	
	次 期 繰 越 金	4,300,946	
	合 計	6,085,275	

平成24年7月31日 普通預金 3,988,760円
郵便局 272,590円
現 金 39,596円

岩 本 栄 一 (昭和49年卒) (事務局)	田 中 賀 代 子 (平成7年卒)	中 川 原 慶 憲 (昭和41年卒)	斎 藤 洲 男 (昭和37年卒)	高 倉 嗣 昌 (昭和36年卒)	伊 藤 幸 彦 (昭和34年卒)	伊 東 孝 (昭和34年卒)	上 野 昌 美 (昭和47年卒) (編集委員長)
---------------------------------------	----------------------------------	-----------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	-------------------------	---

会報編集委員

■ 編集後記 ■

○初めて北大でホームカミングデーが行われます。旧帝大でやってなかったのは北大だけだったせいか、大学サイドは相当気合が入っており全国から同窓生を集めようと躍起です。学部でも小林名誉教授の「なつかし講義」を企画していただき、我々同窓会もその直後に総会や懇親会を開催します。秋の一日、母校のキャンパスでゆっくりお過ごし下さい。

○地域やゼミの同窓生の集まりなどがありましたら、ちょっとした原稿と写真を添えて同窓会にお送り下さい。会報への掲載も考えております。また、ホームページでは同窓会活動の最近の動きや数か月先の催しの案内を掲載しております。当分見栄えは悪いですが最低限の情報はしっかり書いて、更新していきたいと思っております。

○永年事務局長として同窓会の発展に尽力された伊藤幸彦さんから昨年暮れにバトンタッチを受けました。学生の時はせいぜい月に3日の大学通いが40年経ってキッチリ週に3日通うハメになりました。月、木、金の午後は常駐しています。お気軽にご連絡下さい。

(岩本 記)



(株)ブライダルは北海道大学経済学部同窓会の皆様の「結婚」を応援します。

34年の実績

(株)ブライダルは今まで法人福利厚生、官公庁、各大学会報誌などで、数多くの方々の結婚のお世話をさせて頂いております。少子化問題にも『結婚』という形で社会に貢献できる企業を目指しており、特に北大校友の皆様には平成18年より「北海道大コース」を設け、多くの方にご利用頂いております。この「北大経済学部同窓会報」を見たとおっしゃってくだされば、校友の皆様はもとより、ご家族の方でも特別に「結婚」を特典付(登録料50% OFF)にてお世話させて頂きます。

北海道大コース

登録料 **50% OFF**

ブライダルコース ¥220,500 ▶ ¥204,750 etc.

エクセレントコース ¥378,000 ▶ ¥362,250 etc.

●価格は登録料・会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。



下のQRコードにて携帯サイトに簡単にアクセスできます。(一部対応しない機種がございます。)



株式会社 **ブライダル**

Network 東京・横浜・湘南・浜松・豊橋・名古屋・岐阜・大阪

東京本社 〒163-0528 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル28F
名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモビル9F
大阪支社 〒530-0001 大阪市北区梅田1-8-17 大阪第一生命ビル10F

お問い合わせ
(月曜定休)

0120-415-412

ホームページ <http://www.bridal-vip.co.jp>
携帯サイト <http://www.bridal-vip.net/m/>



QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

